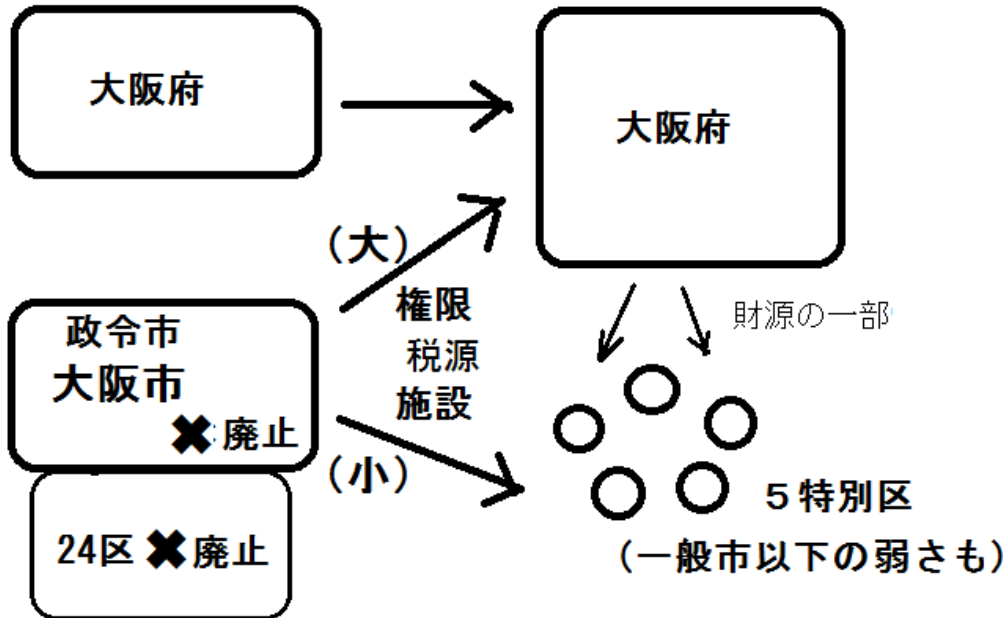


# 大阪都＝大阪市廃止分割構想 ＝「特別区の設置」

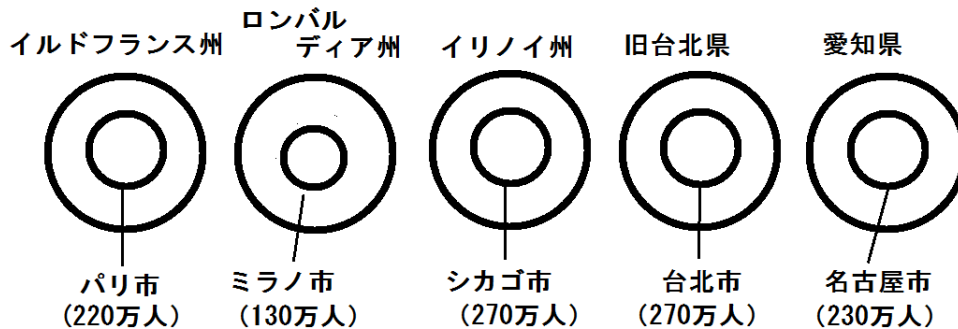
【村上A】

★大阪市の政策力と自治が消える →大阪衰退！  
→住民サービス低下！



府県と市の「二重システム」は、先進国の常識です。 【村上B】  
(大都市圏) (中心都市)

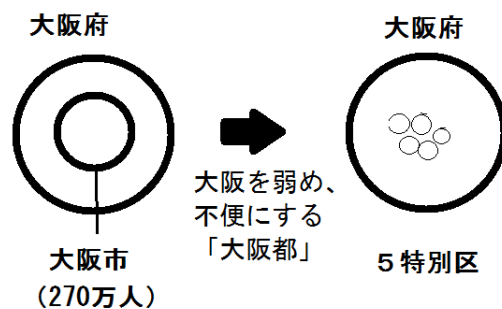
\* 有力都市の多くは、人口200万程度の「市」を持つ



<他にも、多数の事例が！>  
京畿道 - ソウル市  
(1010万人、面積は大阪府の3分の1)  
カタルーニャ州 - バルセロナ市  
(160万人)  
ブランデンブルグ州 - ベルリン都市州  
(340万人) etc.

\* ウィキペディア (原語版) でも簡単に分かる話ですが、あまり知られていない。

\* 市のなかの「区」に議会等を置く場合、置かない場合があるが、大阪市のように「市」全体を運営する強い自治体の存在は常識。



## 大阪「都」を考える、ミニマム・フレーム

○メリット、×デメリット 【村上〇】

制度変更 →	成長戦略	住民サービス・自治	【代替案】
1. 府へ集権化 大阪市の廃止 →	○? カジノを強力に進められる ■ 他に、市を廃止しなければ進まない政策は具体的に何なのか? × 市の政策力が消えて、むしろ大阪衰退	× 大阪市は府から見ると3分の1 → 旧大阪市の重要課題・民意の軽視 × 直接に国と交渉できる政令指定市の地位も、なくなる。都市計画権も失う。 × 市交通局的「完全」民営化でサービス低下	「府市調整会議」 ■ 再開発、都市基盤整備は、（橋下知事以前は、）かなり府市が協力。京都などでも同じ。
2. 二重行政（府市の重要施設など）解消 →	× ニーズのある市の高度施設が消え、大阪衰退	× ニーズのある市の高度施設が消え、不便になる	同上。ムダな二重行政だけを、政策評価制度で減らす
3. 5特別区の設置 大阪市の廃止 24区の廃止 →	○ 自治体としての特別区が競争 × (切り下げ、格差も) × 大阪市と、横浜、神戸などの競争が消える × 市の職員組織がスケールメリット、専門性を失う × 24区ごとの施設や地名が消えるおそれ		地方自治法規定の「総合区」の導入

## 住民投票の、望ましい投票用紙

【村上D】

○ 公正で、分かりやすい表記

大阪市を廃止し、代わりに5つの特別区を置くことに、賛成ですか反対ですか。

### × 重要事項を隠し

大阪市が残るとの誤解を招く  
違法のおそれのある表記

「大阪市における 特別区の設置についての投票」

(大阪市選管HP) →→→

【参考】大都市地域における特別区の設置に関する法律の1条「関係市町村を廃止し」、7条2項「分かりやすい説明をしなければならない」に違反している。住民投票のあとで、投票は違法で無効だという訴訟が起こされる可能性もある。

当面は、マスコミや有権者が、これは「大阪市廃止分割構想」への投票だと繰り返し確認したうえで、みんなで投票に行くことがたいせつです。

平成27年8月17日執行  
大阪市における  
特別区の設置についての投票

(注 意)  
一 特別区の設置については賛成の人は賛成と書き、  
反対の人は反対と書くこと。  
二 他のごときは書かないこと。